

県民講座の実績（第1回～30回）

回数	開催日	場 所	講 師	役 職	演 題
第1回	1977/2/26	産業貿易館	馬原鉄男	大阪工業高専教授	部落の歴史と解放運動
第2回	1979/2/25	ブラザー栄ビル	丹波正史	愛解連委員長	愛知県における部落解放運動
			北原泰作		部落問題-過去、現在、未来
第3回	1981/2/14	名古屋市公会堂	丹波正史	愛解連委員長	就職差別と公正な採用システムの確立
			杉山守	和歌山県名手小教諭	だれにでもとりくめる同和教育
			長谷川善計	神戸大学教授	社会同和教育からみた部落問題の市民啓発のあり方
第4回	1981/12/5	県文化講堂	石田真一	全国同和教育研究協議会副委員長	部落問題の科学的認識と同和教育
			岡映	全解連委員長	水平社60周年と部落解放運動のあり方
第5回	1983/12/2	名古屋市公会堂	デシュパンデ博士	インド・ネルー大学	世界人権宣言35周年と部落問題
			松井芳朗	名古屋大学教授	
			齊藤恵彦	東京外国語大学教授	
第6回	1984/11/27	県文化講堂	小川早苗	アイヌ民族文化伝承の会事務局長	アイヌ民族としての私の生き方
			真田是	立命館大学教授	21世紀をめざして部落問題の解決を
第7回	1985/12/7	名古屋市公会堂	鈴木良	立命館大学教授	日本社会でなぜ部落問題が残ったか
			東上高志	滋賀大学教授	同和教育、研修、社会啓発をどうすすめるか
第8回	1987/12/3	名古屋市公会堂	磯村英一	地域改善対策協議会会長	今後の同和行政、教育、啓発運動のあり方
			杉之原寿一	部落問題研究所理事	
			藤岡祥三	全解連委員長	
第9回	1988/11/16	県文化会館	ジェリーマツイーラ	アフリカ民族会議駐日代表	アパルトヘイトの廃止を
			長谷川正安	名古屋大学名誉教授	部落問題にかかわる教育、啓発をどう進めるか
			松浦国弘	愛知学院大学教授	
			丸林勝人	国民融合をめざす部落問題全国会議 常任理事	
			丹波正史	愛解連委員長	
第10回	1990/1/26	県文化会館	安川寿乃輔	名古屋大学教授	民主主義と差別
			成澤榮寿	国民融合をめざす部落問題全国会議 事務局長	差別用語問題をどう考えるか
第11回	1991/12/4	県文化会館	長谷川正安	名古屋大学名誉教授	平等論
			馬原鉄男	立命館大学教授	70年の部落解放運動から学ぶ
			峰岸賢太郎	東京都立大学教授	歴史家からみた部落問題解決の展望
			中川信義	大阪市立大学教授	経済的不平等と部落問題の解決
			大同啓吾	国民融合京都府会議事務局長	部落問題解決のうえで公教育のはたす役割
第12回	1992/11/10	県勤労会館	堀田佐知子	愛解連婦人部コンサート	
			丹波正史	愛解連委員長	愛知水平社70周年の意義と今日の部落問題
			東上高志	滋賀大学教授	部落問題の過去、現在そして展望

第13回	1993/11/24	県勤労会館	丹波正史	全解連書記長	世界の封建的賦民身分の歴史と現在
			高淑和（コスクファ）	梨花女子大学講師	「対談」韓国における「白丁」問題と衝平社運動
			中村福治	立命館大学教授	
第14回	1994/11/22	県勤労会館	丹波正史	全解連書記長	部落問題の解決の到達点とこれからの展望
			杉之原寿一	神戸大学名誉教授	部落問題の到達点
			奥山峰夫	部落問題研究所事務局長	最近の差別事象の特徴と課題
第15回	1996/1/17	県勤労会館	太田真季コンサート		
			丹波正史	愛解連委員長	愛知県における部落の現状と解決の展望
第16回	1996/10/30	県勤労会館	眞田是	日本福祉大学教授	部落問題解決の展望
			中野初好	全解連委員長	全解連20年をふりかえって
			奥山峰夫	部落問題研究所常務理事	部落問題解決と21世紀をめざして
			杉之原寿一	神戸大学名誉教授	
			梅田修	滋賀大学教授	
丹波正史	愛解連委員長				
第17回	1997/9/9	県勤労会館	新井直樹	全解連書記次長	「人権教育のための国連10年」を考える
			丹波正史	全解連書記長	どうなる日本の人権「人権擁護施策推進法」
第18回	1998/10/9	県勤労会館	丹波正史	全解連書記長	部落問題解決の道筋-旧身分の枠組の解体
			奥平康弘	東京大学名誉教授	世界人権宣言50周年と日本国憲法
第19回	1999/9/16	県勤労会館	丹波正史	全解連書記長	最終段階を迎えた部落問題解決と部落解放運動の展開
			新井直樹	全解連書記次長	人権擁護推進審議会「答申」をめぐって
			杉之原寿一	神戸大学名誉教授	差別とは何か
第20回	2000/9/5	県勤労会館	脇田修	大阪大学名誉教授	部落はどのようにできたか-部落の起源をめぐって
			碓井敏正	京都橘女子大学教授	不平等の実態と平等の意義
			新井直樹	全解連書記次長	人権擁護推進審議会の動向
			奥山峰夫	部落問題研究所常務理事	人権救済制度のあり方
第21回	2001/10/22	県勤労会館	木下光生	日本芸術振興会特別研究員	「近世尾張の部落史」を書き終えて
			岩崎建弥	中日新聞編集委員	部落問題解決の展望を語る
			丹波正史	全解連書記長	
			新井直樹	全解連書記次長	
第22回	2003/1/23	県勤労会館	梅田修	滋賀大学教授	人権教育を考える
			藤原精吾	前日弁連副会長	「対談」人権救済制度のあり方「人権擁護法」案とも
			新井直樹	全解連書記次長	かかわって
第23回	2004/10/13	ウィルあいち	碓井敏正	京都橘女子大学教授	日本の民主主義と部落問題の解決
			鈴木良	元立命館大学教授	部落問題の解決と部落解放運動
第24回	2005/9/16	ウィルあいち	新井直樹	全国人権連事務局長	人権擁護法案の動向と言論の自由、憲法改正問題
			丹波正史	全国人権連議長	歴史的にみた部落解放運動の意義と教訓
第25回	2006/10/5	ウィルあいち	新井直樹	全国人権連事務局長	人権擁護法案をめぐる情勢
			丹波史紀	福島大学准教授	貧困、社会的格差の実態
			小林武	愛知大学教授	社会的格差の広がりとは平等理念

第26回	2007/9/20	ウィルあいち	松浦國弘	愛知学院大学教授	部落問題と私
			新井直樹	全国人権連事務局長	部落問題はどこまで解決したか
			丹波正史	全国人権連議長	マイノリティーとは何か
第27回	2008/9/18	ウィルあいち	新井直樹	全国人権連事務局長	人権擁護法（案）をめぐって
			丹波正史	全国人権連議長	部落問題と結婚問題の今日
			「蟹工船」上映		
第28回	2009/11/4	ウィルあいち	丹波史紀	福島大学准教授	人権から見た日本の貧困
			新井直樹	全国人権連事務局長	部落問題と人権問題
			「破戒」上映		
第29回	2010/11/5	ウィルあいち	丹波正史	全国人権連議長	部落（同和）問題について
			渡辺治	一橋大学名誉教授	現代日本社会で人権は実現、保障されているか ～人権の戦後史をふり返って考える～
			新井直樹	全国人権連事務局長	国内人権区間設置の動向と地域権利憲章
第30回	2011/10/14	ウィルあいち	鈴木良	元立命館大学教授	「対談」部落問題解決解消過程の解明
			奥山峰夫	大阪経済法科大学教授	
			新井直樹	全国人権連事務局長	人権侵害救済機関設置法案をめぐる動向と課題